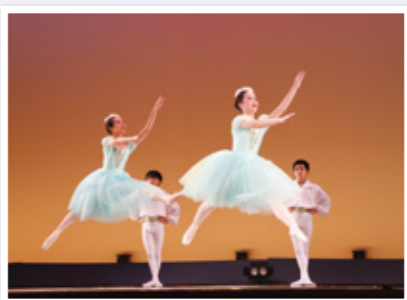


閩海老名市文化芸術協会事務局(文化スポーツ課内) ☎(235)4797 ☎(233)9118

出演者と出展者が中心となつて創り上げる市民主体の文化芸術イベントです。「子どもから大人まで誰でも気軽に文化芸術にふれあえる」ことを目標に、さまざまジャンル出演者を募集します。



運営ボランティアを募集
前日準備、当日の受け付け・会場整理・舞台進行補助・アナウンス・写真撮影などを行います。詳細は、市または海老名市文化芸術協会ホームページをご覧ください。
市内在住・在勤・在学の方
申 電話または直接海老名市文化芸術協会へ。8月31日(木)締め切り

費用無料

市内在住・在勤・在学の方、市内で活動する団体または個人

海老名市文化芸術協会 申 4月17日(月)から、申込用紙を郵送・ファクスまたは直接文化スポーツ課へ。ホームページからも可。用紙は同課で配布のほか、市または海老名市文化芸術協会ホームページからダウンロードできます。5月17日(水)締め切り(必着)



参加者募集ページ

音楽・舞台 文化会館

Table with 3 columns: 日程(10月), 内容, 会場. Rows include dates like 8日(日), 15日(日), 22日(日), 29日(日) and activities like 器楽, 邦楽, 合唱, ダンス, フラダンス, 舞踊, 民踊, 詩吟.

展示 文化会館

Table with 3 columns: 日程(10月), 内容, 会場. Rows include dates like 7日(土)・8日(日), 21日(土)・22日(日), 28日(土)・29日(日), 29日(日) and activities like 書道, 陶芸, 川柳, 俳句, 盆栽, 短歌, 華道, 茶道.

展示 市民ギャラリー

Table with 3 columns: 日程(10月), 内容, 会場. Rows include dates like 4日(水)~9日(月)祝, 11日(水)~16日(月), 18日(水)~23日(月) and content like 絵画, 写真.

海老名市文化芸術協会の会員を募集

海老名市文化芸術協会は昨年4月に設立され、約1300人の会員が活動中です。えびな市民文化芸術祭のほか、企業や学校と連携しながら文化芸術の継承と普及を行っています。子どもから大人まで随時会員を募集しています。詳細は、同協会へお問い合わせください。

新型コロナウイルス感染症 関連情報

閩海老名市新型コロナウイルスワクチン接種専用ダイヤル ☎0570(097)050(ナビダイヤル)

新型コロナウイルスワクチン 「令和5年春開始接種」が始まります

集団接種は5月中旬ごろから、個別接種は5月8日(月)以降、準備が整った医療機関から順次開始します。接種を希望する人は、集団・個別接種のいずれかで接種してください。

- 対象者 前回接種から3カ月経過し、①~③のいずれかに該当する方。
①65歳以上の方
②5歳~64歳の基礎疾患がある、または重症化リスクが高いと医師が判断した方
③64歳以下の医療または高齢者施設などの従事者
※②、③に該当し、接種を希望する方は事前に接種券発行の申請が必要です。ただし、②の方で昨年に同様の申請をした方は申請不要です。

接種券発送時期

前回接種を2月28日までに受けた人には、4月下旬に発送します。それ以降に接種した人には、5月下旬から順次発送します。

接種券で指定日時などの確認を

昨年10月以降に市の集団接種を受けた65歳以上の人の接種券には、接種日時と会場を記載しています。記載がない人や指定日時などを変更したい人は、同封の案内に沿って手続きをしてください。

海老名市新型コロナウイルス感染症 コールセンター

☎046(235)5234 ☎046(235)7015
☎(月)~(金)9時~17時(土)日祝除く
※コールセンターは4月28日(金)で終了します。

12歳以上のオミクロン株対応ワクチン接種を一時終了

12歳以上のオミクロン株対応ワクチン接種を5月7日(日)で終了します。次回接種は、9月~12月の予定です。

健やか 舞えびな

徒然草に「百薬の長とはいへども、万の病は酒よりこそ起れ」という一節があります。現代語で「酒は百薬の長」というが、多くの病気が酒が原因だと訳されます。本当のところはどうでしょうか。

「お酒との上手な付き合い方」

海老名西口こころの診療所 大山 泰弘

厚生労働省が定めた「健康日本21(第二次)」では、「節度ある適度な飲酒」を純アルコール換算で1日平均20g程度とし、この知識の普及を指しています。純アルコール換算20gとは、日本酒で1合程度、ビールで500ml程度です。この量を飲酒した場合、心筋梗塞・狭心症などの心臓血管疾患、脳梗塞、2型の糖尿病の発症リスクが最も低くなるかとされています。これらの病気はかかる人が多く、健康や寿命に与える影響が大きい「適度な飲酒量」といわれることになったようです。

しかし、2018年に「The Lancet」という世界でも権威のある医学雑誌の一つに、これを覆す可能性のある論文が発表されました。論文によると、心筋梗塞などの一部の病気に限れば少量の飲酒は発症リスクを下げるが、その他の病気のリスクを含めて総合的に考えると、アルコールによる特定の疾患のリスク低下の効果は相殺されてしまう。結論としては「飲酒ゼロが最も健康によい」とのことです。

このコーナーは、海老名市医師会が健康をテーマにした情報を提供します。次回7月15日号に掲載予定です。